

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立常盤高等学校) s 36

目指す学校像	豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
--------	------------------------------------

重点目標	1 授業改善を推進するとともに、自ら学ぶ姿勢を身につけさせ、学力の一層の向上を図る。 2 多様なものの考え方や社会の変化に対応できる人間形成を図るため、特別活動や部活動を充実させ、心身ともに健康で心豊かな生徒の育成を図る。 3 生涯にわたる人生設計を念頭に置いた系統的組織的な進路指導を推進する。 4 保護者・地域・関係機関との連携を強化し、開かれた学校づくりの一層の推進を図る。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	7名
	事務局(教職員)	12名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	
1	現状 昨年度終了したSPHの各取組が活力となり、教員集団の創造的な働きは、新たな学習活動を開発・展開させ、本校の学力向上に寄与している。 課題 5年間のSPH事業の成果を効果的に継続させ、協調学習やICTを活用した授業改善を継続する。また新学習指導要領に向けた新教育課程の検討を進める。	学力向上を推進するとともに、確かな技術の獲得を図る。	①全教科・科目でシラバスを作成し、掲載したSPH事業の継続等の取組を実施する。 ②協調学習やICTを導入した教科指導の充実や、授業アンケートによる授業評価の実施により授業改善をする。 ③学力向上のため実力テストを実施する。 ④新学習指導要領に向けた新教育課程を作成する。	①各教科・科目でシラバスを作成し、実践できたか。 ②協調学習やICTを導入した授業や研修会の実施、授業アンケートの結果の活用ができたか。 ③実力テストを実施し、基礎学力を高めることができたか。 ④新学習指導要領に向けた新教育課程を作成できたか。	昨年度終了したSPHの取組を継続することができ、協調学習やICTを活用した授業改善も継続できた。 ①全教科・科目で評価基準を明確化したシラバスを作成・実施し、SPH後継事業もそれに則り実施した。 ②未来を拓く「学び」プロジェクトによる協調学習公開授業(11月)、プロジェクト学習公開プレゼンテーション(10月)の実施や、タブレットやプロジェクターなどのICTを活用し、授業アンケートでは97%が「授業に真剣に取り組めた」という結果を得た。 ③実力テストを3回実施し、個人票などの活用により学習に対する意識づけを図った。 ④新学習指導要領に向けた新教育課程の作成を着実に進めた。	B
2	現状 ほとんどの生徒は基本的な生活習慣が確立されている。また、生徒支援の組織的な体制が整備されている。 課題 5年間生徒が目的意識を保ち続けられるような教育活動を実施するための環境を整備する。また知識だけでなく豊かな人間性、看護職者としての高いモラルを育成する。	他者の心情や環境に配慮する「豊かな人間性」を育む。	①きめ細やかな生活指導を組織的・継続的に実施するとともに、看護職者としてのモラルを高める。 ②学校行事の充実や、部活動を通じて豊かな人間性を育む。 ③生徒支援委員会を中心とした個に応じた支援活動を継続する。 ④全校的な取組としての「ecoと心」活動を継続し、環境教育を推進する。	①組織的・日常的に生活指導を実施し、看護職者としてのモラルを高めることができたか。 ②各種行事の実施や、本校の活動方針に基づいた部活動の実施ができたか。 ③計画的・継続的な個別指導により、課題を抱えた生徒の生活状況は改善したか。 ④清掃指導を徹底し、紙ゴミを含めた可燃物廃棄量を前年より減らすことができたか。	全教育活動を通して豊かな人間性を育むとともに5年間を見通した生徒指導に全力で取り組んだ。 ①定期的な登下校指導や情報モラルに関する講演会、薬物乱用防止教室、人権教育講話などを実施し、モラル向上を計画的組織的に取り組んだ。 ②体育祭、文化祭、球技大会等の各種行事を実施し、生徒の自主性の育成や異学年交流に取り組んだ。部活動では新入生の加入率が90%であった。 ③生徒支援委員会による情報共有やいじめアンケートの実施により、個別指導を組織的に対応することで迅速な支援活動を行った。 ④清掃マニュアルやピカピカコンテストの実施等により清掃指導を徹底に取り組み、古紙回収BOXや裏紙の使用推進により可燃ごみを前年より削減した。	B
3	現状 看護師国家試験の合格率100%を6年連続して達成している。また、県内医療機関への就職の採用状況が年々早まっている。 課題 5年一貫教育の特性を生かし、系統的・計画的な指導により、看護師国家試験の合格率100%を継続する。また生徒の個に応じた進路希望を実現するため、適切な時期に進路指導を行う。	5年間を見通したタイムリーな進路情報の提供と、個々の生徒が希望する進路を実現する。	①進路の手引きを発行し、各学年に進路ガイダンスを実施しモチベーションの維持を図る。 ②幅広い視野に立ち、個に応じたキャリア教育を実践する。 ③病院説明会や進路講話、修了生懇談会等を計画的に行い、看護師国家試験合格率100%達成を目指し、生徒の進路希望実現を支援する。 ④進路指導部と学年が連携して進学を希望する生徒の受験指導を行う。	①看護科・専攻科・学年等が計画的かつ緊密に連携した進路ガイダンス等の行事を行い、生徒の意識をたかめることができたか。 ②チューター制を継続し、個に応じた支援ができたか。 ③国家試験合格率100%達成に向けて、計画的な支援ができたか。 ④進学希望生徒に効果的な受験指導を行い、進学が実現できたか。	5年間を見通した進路情報の提供と進路意識向上に努め、幅広い視野に立った個に応じたキャリア教育を実践した。 ①進路の手引きを活用した進路ガイダンス、進路講話や進路意識調査を実施し進路への意識付けに取り組んだ。 ②チューター制により、個に応じた学習支援を行った。 ③病院説明会や修了生懇談会、インターンシップや面接指導などを行い就職希望者のほとんどが県内病院に内定が決定し、看護師国家試験全員合格に向けた支援を全力で行っている。 ④進学希望生徒向けに受験指導を行い、9名の進学が決定した。	B
4	現状 連携病院や大学並びに保護者の協力により、専門性の高い教育活動が円滑に推進されている。 課題 SPH事業の成果や本校の特色ある取組について積極的に発信する。また保護者と連携し課題の発見や改善に努め、HPやメール等を活用し家庭と連携する。	保護者・地域・関係機関との連携強化を図り、本校の特色ある取組を広く県内外に積極的に発信する。	①学校説明会・体験入学をより充実させ、5年一貫教育をよりよくアピールする。 ②公開授業や地域との交流を充実させ、専門性の高い教育活動の内容を広く紹介する。 ③保護者アンケートにより課題発見・改善に資する。 ④HPの継続的な更新やメール等を活用し家庭と連携を進める。	①学校説明会・体験入学を充実させ、志願者の確保ができたか。 ②公開授業や地域との交流会を実施できたか。 ③保護者アンケートを実施し、保護者と共に課題の改善を進めることができたか。 ④HPやメール等を適時更新、発信ができたか。	教職員の協体制のもと、保護者、地域、関係機関と連携して開かれた学校づくりを一層推進した。 ①学校説明会(4回)、体験入学(1回)を実施し、志願倍率1.19倍(1月現在)となった。 ②授業公開週間(2回)、協調学習公開授業、プロジェクト学習公開プレゼンテーション、敬老会との地域交流会、中学校への出前授業などを実施し本校の教育活動を幅広く発信した。 ③保護者アンケートの結果、本校への満足度91%であり、7項目全ての質問で8割以上の肯定的評価を得た。 ④HPのリニューアルを行い、主な行事ごとに適宜更新した結果、アクセス数が大幅に向上した。また一斉メールも適宜活用し家庭との連携に努めた。	A

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日 令 和 2 年 2 月 1 2 日	
学 校 関 係 者 からの 意 見 ・ 要 望 ・ 評 価 等	
<ul style="list-style-type: none"> ・SPHの取り組みを継続しているところが評価できる。 ・新学習指導要領に向けて主体的な学びを実践している姿が見られる。 ・学ぶ必要性の動機づけがあると生徒は自発的に取り組むようになる。 ・プロジェクト学習などで避難所になったらどう動くかのゲームがあるので、そういうものも取り入れられたらよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットトラブル防止の啓発は必要である。 ・部活は中学生も関心が高いので、新入生加入率が高いのは評価できる。 ・あいさつはとても大切なことなので、もう少しあいさつができるとうよい。 ・可燃ごみを前年よりどれぐらい減らしたのか数値があるとよい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門だけでなく、社会に求められる専門性がこれからは必要になってくる。 ・学んでいる内容が将来の仕事につながっているとよい。 ・進路決定には実習と情報の両方が必要である。情報によるイメージだけでなく現場を体験することも大事である。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・HPに録画した動画のリンクを張るなどするとよい。 ・地域交流会はとても楽しみにしている行事なので継続してもらいたい。 	